

7 進路指導委員会

一 調査研究のテーマ

今年度は「望ましい小中学校におけるキャリア教育の進め方と指導方法はどうか」をテーマにして、各中学校のキャリア教育の現状調査を行い、今後、活用していただけるようにデータベースで配布した。

二 調査研究の内容

○平成24年度版「進路学習資料集」の編集・発行

- ・各高等学校のカリキュラム等の変更に伴い冊子の内容を検討した。
- ・各高等学校などへ原稿を依頼し、編集を行った。
- ・今年度の発行部数は2929部。安曇野市の中学校以外の20校にも利用していただいた。
- ・類似した資料集が民間の出版社から低価格で出版されているので、価格や内容をさらに検討する必要があると思われる。

○「各中学校のキャリア教育の現状」についての調査

1 活動内容

本年度は現状調査の第一歩として、市内中学校における職場体験学習受け入れ職場のデータを集積した資料の作成を行った。

各校の職場体験学習が終了する10月を待ち、11月に各校からデータ(職場名、業務内容、住所、電話番号、担当窓口、最大受け入れ人数)を取り寄せた。12月から1月までに公表すべき情報だけを選択し、各校に紙ベースとデータベースで配布した。なお、この段階で、担当窓口と受け入れ人数は削除した。

また、各校からの要請により、情報を共有すべきでない職場も削除した。

2 結果と考察

中学生を受け入れやすい業種は第3次産業が大多数となっている。今後は、時代の要請や生徒の希望に合わせ、第1次産業の分野も開拓していく必要があると考える。

受け入れ職場

産業	第1次産業		第2次産業		第3次産業						
	農業園芸	畜産	製造	食品加工	小売	保育	公共機関	福祉	美容	医療	その他
場所	7	1	18	20	69	36	34	27	15	14	78

※ 体験場所については延べ数で、7校が体験している職場は7とカウントした。

3 次年度に向けて

作成した資料を年度ごと加除修正していく。